

事務事業チェックシート

事務事業No 209 事業名 自立支援医療費給付事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	3	障害のある人の自立と社会参加の推進
取組方針	3	社会参加・自立に向けた支援体制づくり

事業種別	
事業期間	～
事業実施の根拠法令	障害者総合支援法
関連個別計画	和歌山市障害者計画
担当課・担当課長 (Tel)	障害者支援課 西 喜彦 (435-1060)
関連課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		社会福祉費	
	目		障害者総合支援費	
	大事業		障害者総合支援事業	
事項		自立支援医療費給付事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	障害者の日常生活を容易にするために、障害程度を軽減する手術等の医療費の支給をする。	指定医療機関で身体上の障害を軽減する手術等が認められたときに医療費の給付を行う				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		入院分: 2,589件(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・言語・咀嚼機能障害を含む) 入院外 12,296(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・音声・言語・咀嚼機能障害を含む。計14,885件	入院分: 1,909件(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・言語・咀嚼機能障害を含む) 入院外 13,287件(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・音声・言語・咀嚼機能障害を含む。計15,196件	入院分: 1,959件(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・言語・咀嚼機能障害を含む) 入院外 13,176件(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・音声・言語・咀嚼機能障害を含む。計17,603件	入院分(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・言語・咀嚼機能障害を含む) 入院外(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・音声・言語・咀嚼機能障害を含む。	入院分(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・言語・咀嚼機能障害を含む) 入院外(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・音声・言語・咀嚼機能障害を含む。

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,075,827	1,022,916	1,099,837	1,035,226	1,196,033	993,277	1,044,193		1,046,512	
伸び率 (%)	-	-	2.2%	1.2%	8.7%	▲4.1%	▲12.7%	▲100.0%	0.2%	-
人件費	正規職員	13,807	14,918	14,902	15,155	14,902	14,553	14,902	14,902	196
	正規職員以外	0	196	196	312	196	0	196	196	196
	小計	13,807	15,114	15,098	15,467	15,098	14,553	15,098	15,098	15,098
国庫支出金	537,914	511,458	549,918	517,328	596,964	516,847	522,096		523,256	
県支出金	268,956	255,729	274,959	258,664	298,482	248,320	261,048		261,628	
市債										
その他										
一般財源(税等)	268,957	255,729	274,960	259,234	300,587	228,110	261,048		261,628	
所要人数 (人)	正規職員	1.85	1.96	1.96	1.99	1.96	1.91	1.96	1.96	1.96
	正規職員以外	0.00	0.13	0.13	0.20	0.13	0	0.13	0.13	0.13
主な予算内訳	支払事務委託料1,948千円、扶助費1,044,193千円									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	入院分	件	目標値	2,589	2,502	2,502	2,502	2,502
			実績値	1,877	1,909	1,909		
			達成度(%)	72.5%	76.3%	82.2%		
活動指標	入院外分	件	目標値	12,296	11,873	11,873	11,873	11,873
			実績値	11,744	13,287	13,176		
			達成度(%)	95.5%	111.9%	120.8%		
成果指標	延給付数	件	目標値	14,885	14,375	14,375	14,375	14,375
			実績値	13,621	15,196	17,603		
			達成度(%)	91.5%	105.7%	122.5%		
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	障害者総合支援法による事業であり、今後も事業を維持継続していきたい。
見直し・改善内容	